

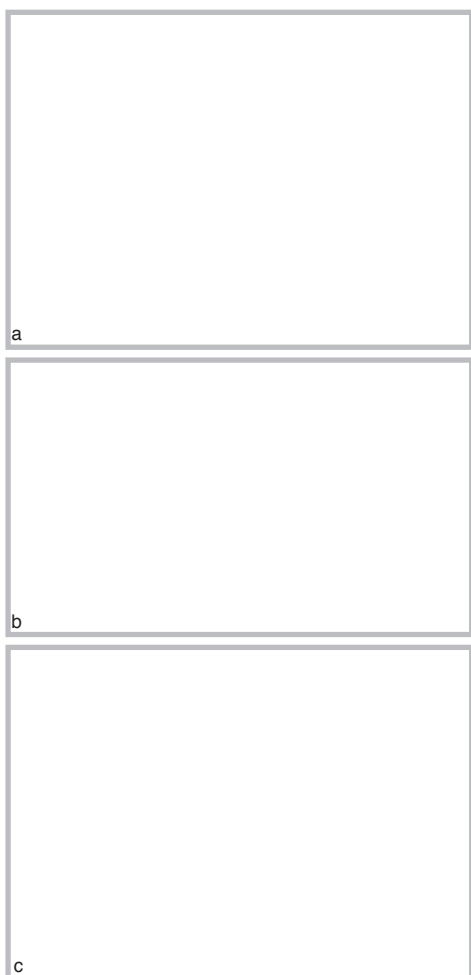


図 21.47② 毛細血管奇形 (capillary malformation)

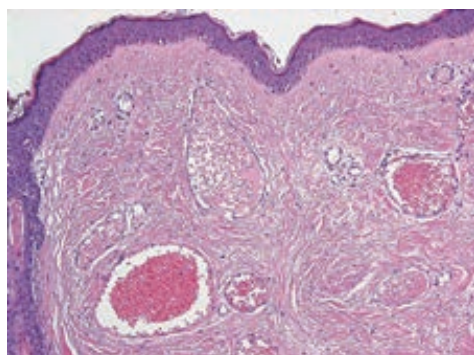


図 21.48 毛細血管奇形の病理組織像
真皮血管の拡張，赤血球の充満像を認める．表面が赤く見える理由である．

ものを正中部母斑ないしサーモンパッチ (salmon patch) といい，新生児の 20～30% でみられる (図 21.47② c)．額部や眼瞼部に好発し，顔面に生じたものは 2 歳頃までに大部分が自然消退するが，項部に生じたもの [Unna 母斑 (nevus Unna)] は消退しにくい．

病因・病理所見

真皮浅層で成熟した毛細血管の拡張を認める (図 21.48, 21.38)．

治療

色素レーザー療法が第一選択であり早期の治療が望ましい．サーモンパッチは経過観察．そのほか，カバーメイクアップが用いられる．

2. 静脈奇形 venous malformation ★

同義語：海綿状血管腫 (cavernous hemangioma)

Essence

- 奇形性静脈が皮膚深層で増生．
- 幼児期に発症し，軟らかい皮下腫瘤を形成．正常皮膚色が淡紫赤色を呈する．

症状

成熟した奇形性小血管 (主に静脈) が皮膚深層に生じる (図 21.49, 21.38 参照)．出生時から奇形は存在するが，臨床的に幼児期に気づかれることが多い．柔軟な皮下腫瘍として認められる．色調は正常色～淡青色～赤紫色であり，表面に小紅斑が散在することがある．圧痛はなく，自然消退しない．通常単発性であるが，多発した場合は青色ゴムまり様母斑症候群や Maffucci 症候群など神経皮膚症候群の可能性がある (20 章参照)．

治療

小型のものは外科的切除，腫瘍内凝固 (硬化療法) も行われる．放射線療法は無効である．

3. 静脈湖 venous lake

主に高齢者の顔面や口唇部，耳介に生じる，軽度に隆起した濃青色の小結節 (図 21.50)．病理組織学的には血管拡張が主体．



図 21.49 静脈奇形 (venous malformation)
左胸部に浸潤を伴う腫瘍を認める。深部の血管にも異常をきたす。



図 21.50 静脈湖 (venous lake)

4. クモ状血管拡張 spider telangiectasia ★

同義語：クモ状血管腫 (vascular spider, spider nevus, spider angioma)

中央に直径数 mm までの赤色丘疹があり，その周囲に放射状に毛細血管の拡張を認め，クモが長い足を広げたような外観を呈する（図 21.51，図 3.32 参照）。顔面，頸部，肩，胸，上肢に好発する。妊娠時や肝機能障害時などにエストロゲン上昇を基礎として出現することがある。健常人でも約 15% で認められる。皮疹は硝子圧法にて消退。色素レーザー療法が有効。妊婦や小児でみられるものは自然消失する。

5. リンパ管奇形 lymphatic malformation ★

同義語：リンパ管腫 (lymphangioma)

Essence

- リンパ管の形成異常により生じた，リンパ管の過形成と拡張による良性の病変。
- 1～2 mm 大の小水疱が集まり，ときに水疱内出血を起こして紅色～黒色丘疹となる。
- 治療は外科的切除。
- 乳癌や子宮癌などの手術後，腋窩もしくは^{そけい}鼠径部などに生じるものはリンパ管拡張症（後天性リンパ管腫）と呼ばれる。

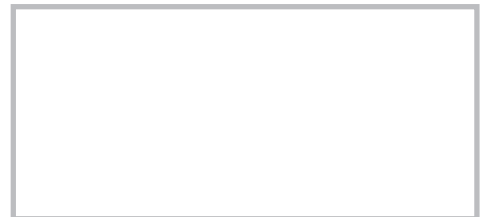


図 21.51 クモ状血管拡張 (spider telangiectasia)
クモの巣のように毛細血管が拡張している。



図21.52① リンパ管奇形 (lymphatic malformation)
限局性リンパ管腫。